

プロパンガスを用いた移動式コンロ等の取扱いは **要注意** です！

【以下の内容についてチェックしてください】

- ガスボンベは、直射日光の当たらない通気性の良い場所に置かれている。
- ガスボンベは、転倒しないように鎖等で固定されている。
- ガスボンベとコンロを繋ぐゴムホースは、適正な長さで取り付けられている。
- ガスボンベとコンロを繋ぐゴムホースには、ひび割れ等の劣化が見られない。
- ゴムホースの接続部は、ホースバンド等により確実に締め付けられている。
- コンロは、可燃性ガス等が滞留するような場所に置かれていない。
- コンロは、不燃性の床上（台上）に設置されている
- コンロには、当該コンロに適した燃料が使用されている。
- コンロは、本来の使用目的以外に使われていない。
- コンロの点検は、定期的に行っている。
- コンロには、故障や破損が見られない。
- 可燃物等がコンロに触れることのないように、コンロの周辺は常に整理されている。
- コンロに点火する際には、ガス漏れ等がないか周辺の確認を行う。

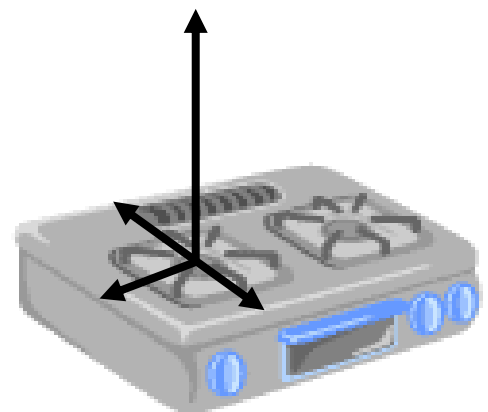
火を使用する器具と可燃物との間には、十分な離隔距離をとりましょう！

器具から上方に 100 cm以上

器具から側方に 15 cm以上

器具から前方、後方に 15 cm以上

「離隔距離」は、器具の種類等により異なる場合があります。



屋台等の露店においてガスコンロ等を使用する場合は、消火器等の消火器具をあらかじめ準備し、「もしも」の火災に備えてください！